



新型コロナウイルス感染症によって痛めつけられるのは、体だけではありません！

誤解や偏見に基づく人権侵害が起こっており、不当な差別・いじめがあってはならないということは第1号ですでお伝えしたとおりですが、その後、全国的には第2波とも思われる感染拡大の兆しの中で、長崎市でも、いまだに偏見や差別ともとれることが行われているようです。



医療従事者は、未知のウイルスに対し、被害が少しでもなくなるように一生懸命に取り組み、また、その家族はそれを支えています。そのほかにも多くの関係者が最前線で努力をしています。

長崎市長も、「両病院のスタッフは、新型コロナウイルスから市民を守るために、身を挺して頑張ってくれてきた人たちです。そして、これからも私たちの命と健康を守ってくれる大切な人たちです。心ならずも感染者が出てしまいましたが、今もこの状況に全力で対応してくれています。(略)頑張っているスタッフを、そして院内で不安の中にいる患者さんを応援してください。」「危機を乗り越えるため、職員や家族を応援して」と呼びかけを行っています。

インターネットやSNSの情報はすべてが正しいわけではありません。私たちが気をつけないといけないこと・大事なことは、

- ・ **不確かな情報に惑わされないこと！**
 - ・ **国や自治体など公的な機関が発信する情報をよく確認すること！**
 - ・ **相手の身になって思いやりの心を忘れないこと！**
- です。

保護者向けに
「今こそ、子どもたちに本当のやさしさを伝える時」とメッセージを出した

(長崎市PTA連合会
長崎新聞7/17記事より)

クルーズ船乗務員より
「彼らを支えて」とのメッセージ

(長崎新聞7/17記事より)

このように、思いやりの心をもった行動も出てきています。いま、長崎市全体で乗り越えていくところに来ています。

感染症等についての正しい情報を取り込み、

正しく恐れよう！！